

石炭・コークス分析用 高速インテリジェント硫黄分析装置（自動電量滴定式）

商品番号: KT-TE9



前書き

自動電量滴定、高精度炭化ケイ素加熱、モジュール式自己診断機能を備えたこの高速インテリジェント硫黄分析装置は、GB/T 214規格に準拠した試験を世界中の厳しい分析現場で実現し、ラボの処理能力を最適化します。

詳細を学ぶ

用途	説明	主な利点
石炭採掘・洗浄の品質管理	採掘された原炭、洗浄炭、尾鉱、処理廃棄物全体の全硫黄含有量を定量化。	契約上の発熱量および硫黄仕様への即時準拠を保証し、商業的収益を最適化するための石炭配合比率を導きます。
火力発電所の燃焼監視	微粉炭供給をスクリーニングし、二酸化硫黄排出量を予測して排煙脱硫（FGD）システムを最適化。	環境罰金リスクを軽減し、湿式スクラバーでの過剰な試薬投入を最小限に抑え、ボイラー管を酸腐食から保護します。
冶金用コークスおよび副産物の検証	高炉やキュボラで使用する冶金用コークス、鋳物用コークス、半コークスの日常的な品質保証。	溶銑の硫黄汚染を防ぎ、鉄の脱硫コストを削減し、下流の製鋼工程における構造的完全性を確保します。
石炭脈石および固体廃棄物の利用	建築資材や埋め戻し用に再利用される石炭脈石、フライアッシュ、炭質頁岩中の残留硫黄分を測定。	環境廃棄基準に準拠し、地盤工事における酸性鉱山排水（AMD）や有害な硫酸塩の溶出を防ぎます。
セメントクリンカーおよびキルン燃料の評価	回転セメントキルンに投入される低品位代替燃料、石油コークス、二次固体燃料を試験。	プレカルシネーター内の硫黄対アルカリ比のバランスをとり、リング形成、プレヒーターの詰まり、クリンカーの硬化時間の不一致を防ぎます。
独立検査および商業認証	GB/T 214-2007に準拠した第三者商業仲裁、輸出貨物認証、ラボベンチマーク。	自動ベースライン補正とハードコピー文書に裏打ちされた、議論の余地のない再現性の高い分析データを提供します。

パラメータ	仕様 (KT-TE9)
製品アイテム番号	KT-TE9
適用規格	GB/T 214-2007 (石炭中の全硫黄測定)
硫黄測定範囲	0% - 99.99%
測定分解能	0.00001 (0.001% / 10 ⁻⁵)
燃焼・分析時間	1試料あたり3～9分（自動終点返却）
炉動作温度	1150°C ± 5°C (プロトコルに基づきユーザー調整可能)
温度測定精度	0.5級
温度制御精度	1150°Cで± 5°C
加熱素子タイプ	炭化ケイ素 (SiC) 管
炉加熱速度	25°C - 30°C/分 (常温から1200°Cまで約35分)

パラメータ	仕様 (KT-TE9)
電解セル容量	450 mL
検知電極	金属白金 (Pt)
電解システム機能	逆流防止設計、クイックチェンジ式焼結ガラスフィルタープレート
ベースライン安定化時間	コールドスタートから1分以内
キャリアガス流量	1000 mL/min
分析データ処理	自動ベースラインドリフト補正、動的曲線補正、SCM自動処理
データ出力	内蔵マイクロプリンターおよびデジタルディスプレイ
動作電源	220V ± 20%, 50 Hz
総消費電力	≤ 2.2 kW